

チームオレンジこうのす

【基本情報】

市町村名	鴻巣市	人口	11.7万人
担当部署	健康福祉部介護保険課		
担当部署	048-541-1321	kaigo@city.kounosu.lg.jp	

【目的・コンセプト】

認知症になってもちょっとした支援があれば、自分らしく生活続けることができます。認知症の人とご家族を地域ボランティアが支える仕組み、それが「チームオレンジこうのす」です。

【活動内容】

活動日時・活動頻度	①オレンジカフェ：各1～2か月に1回10時～11時30分②対象者それぞれの訪問頻度・時間に合わせて
(1)	オレンジカフェ市内5か所運営協力
(2)	自宅への話し相手訪問（個々に応じて日時設定）
(3)	自宅へのみまもり声かけ訪問（個々に応じて日時設定）
(4)	若年性認知症本人つどい運営協力
(5)	認知症の人と家族への一体的支援運営協力

【活動場所】

(1)オレンジカフェ：総合福祉センターほか4か所（総合福祉センター：〒365-0062 埼玉県鴻巣市箕田4211番地1 JR高崎線鴻巣駅より徒歩25分車7分）
 (2)・(3)各個人宅 (4)吹上生涯学習センター (5) 鴻巣市にぎわい交流館にこのす

【設立の経緯・プロセス】

オレンジカフェ立ち上げ当初より関わりを持ってきたボランティアが多数いたことから、ステップアップ講座受講後にオレンジサポーターとしてオレンジカフェ運営協力の活動に引き継いでいただきました。また当時(チームオレンジ立ち上げ前)よりオレンジカフェで顔なじみになったボランティアが当事者の自宅訪問を行い、生活の困りごとを支援する取り組みをしていた事例があり、その活動をも引き継ぎながらチームオレンジづくりへと移行してきました。その後毎年ステップアップ講座の受講者がオレンジサポーターに登録し活動に加わっています。

【本人・家族の関わりの状況】

本人、家族のニーズを丁寧に聞き取り、支援計画に反映し、オレンジサポーターとも共有することを意識しています。

【今後の展望・課題】

(1)	オレンジサポーター主体とする新たなオレンジカフェの立ち上げ
(2)	オレンジカフェの参加者とオレンジサポーターの交流を基とする新たなチームづくり
(3)	本人・家族を中心とするチームづくりをするためにはどのような活動が望ましいのか

オレンジカフェぷらっと

【基本情報】

市町村名	上尾市	人口	23.0万人
担当部署	健康福祉部高齢介護課		
担当部署	048-775-4190	s176700@city.ageo.lg.jp	

【目的・コンセプト】

いつまでも地域で暮らしていける、住み続けられる団地を目指している。

【活動内容】

活動日時・活動頻度	1オレンジカフェ開催_毎月第3火曜日10時～12時_2来所相談_毎週金曜日10時～14時
(1)	オレンジカフェの開催
(2)	認知症や身体機能低下でオレンジカフェに来られない方の送迎
(3)	来所相談
(4)	
(5)	

【活動場所】

【1西上尾第二団地のラウンジ、2支部社協】（JR上尾駅からバス（東武バス_上尾駅西口から西上尾第二団地行）
〒362-0064 上尾市小敷谷77-1

【設立の経緯・プロセス】

元々、オレンジカフェを開催。地域の商業施設等を利用して活動中。地域包括支援センター（認知症地域支援推進員）がチームオレンジの立ち上げをサポート。市主催の認知症サポーターステップアップ講座などを活用。

【本人・家族の関わり状況】

サロンのような参加者同士の交流ではなく、参加者個々に合わせてサポーターが係わり、ゆっくりと過ごしていきたい。

【今後の展望・課題】

(1)	一人でも多くの人に参加してもらうには、チームオレンジとして、どうしていけばよいのか。対象と思われる方はいるがどのように誘っていけばよいのか。
(2)	認知症の研修は沢山あるが、チームオレンジに特化した研修の場、話を聞きたい。
(3)	

ふれあいおおや

【基本情報】

市町村名	上尾市	人口	23.0万人
担当部署	健康福祉部高齢介護課		
担当部署	048-775-4190	s176700@city.ageo.lg.jp	

【目的・コンセプト】

地域住民が協力して認知症の人もささえあう地域を目指す。認知症の理解を深める。

【活動内容】

活動日時・活動頻度	不定期
(1)	認知症の方の家に訪問し話し相手をする。
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	

【活動場所】

[支部社協（向山サポートセンター）]
〒362-0045 上尾市向山3-2-8

【設立の経緯・プロセス】

地域包括支援センター（認知症地域支援推進員）が中心となって立ち上げを支援。

【本人・家族の関わり状況】

オレンジカフェに本人・家族参加している。

【今後の展望・課題】

(1)	訪問活動から始まっているので、少しずつ対象者を広げていきたい。
(2)	
(3)	

おれんじの木

【基本情報】

市町村名	桶川市	人口	7.4万人
担当部署	健康推進部高齢介護課		
担当部署	048-788-4938	kaigo@city.okegawa.lg.jp	

【目的・コンセプト】

認知症という病気に継続して関心を持ち、啓発活動の一翼を担う。
また、認知症の人と触れ合うことでその想いを知り、想いに寄り添いながら一緒に活動する。

【活動内容】

活動日時・活動頻度	随時
(1)	おれんじカフェに積極的に参加する
(2)	小学生向け認知症サポーター養成講座のアシスタント
(3)	認知症啓発月間（9月）の取り組みへの協力
(4)	
(5)	

【活動場所】

【おれんじカフェ（グループホーム等）、市内7小学校、図書館など】（桶川市内）
〒363-8501 桶川市内

【設立の経緯・プロセス】

認知症という病気に関心があり、認知症という病気や認知症の人に継続して関わっていきたく希望する人を対象にステップアップ講座を開催し、認知症の人から会話を引き出す際に役に立つ回想法を実践したり、認知症ケアパスを読み解いたりして学びを深めた後、おれんじカフェに参加して認知症本人と触れ合う活動を開始した。

【本人・家族の関わりの状況】

本人や介護家族については、（はっきり確認できていないが）一緒に活動できていない状況。グループホームでのおれんじカフェで、本人や家族の話に耳を傾けるようにしている。

【今後の展望・課題】

(1)	
(2)	
(3)	